

みなと通信

災害対応記 ～台風に備え小松島市と連携～

近年、豪雨、地震等の発生で全国各地に甚大な被害をもたらしておりますが、国土交通省が行っている災害対策のひとつにリエゾン派遣があります。

リエゾンとは災害対策情報連絡員のことで、災害が発生または発生するおそれがある場合に、被災自治体に派遣され、情報収集や支援ニーズの把握を行い、後の支援活動を円滑にできるよう国・自治体間の連絡・連携を行ういわば仲介役です。

昨年は度重なる台風来襲で各地に甚大な被害をもたらしましたが、当事務所においても、計3回、小松島市役所庁舎に入り、市内被害状況等の情報収集や支援活動等の連絡調整などを行いました。

幸い小松島市内において甚大な被害はありませんでしたが、自治体は市民生活に密着していることから、きめ細やかな災害対応をされていることを目の当たりにしました。また、国はそのスケールをフル活用して側面から支援する重要性を再認識したところです。

近い将来、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されており、更なる災害対応策の確立が課題となっております。今後も派遣要請に的確に応えられるよう連携・体制の強化に努めてまいります。



(参考)
過去の台風襲来時のリエゾン派遣状況

ちりめんを食べて、船に乗ってみなとを探検しよう!! ～みなと見学会を開催～

10月21日和田島漁港にて開催された、和田島ちりめん市と同時に、当事務所主催のみなと見学会を開催しました。みなと見学会とは、当事務所が所有する港湾業務艇「ひのみね」に一般の方々に乗船し、徳島小松島港を探検するイベントです。

当日は受付開始前から長蛇の列ができ、受付開始早々に定員に達する人気ぶりでした。

その後行ったアンケートでは、「子どものためにとと思って参加したが、大人も楽しめた」「港の役割を紹介するようなイベントをまた行ってください」等の声を頂きました。

また、事務所の事業概要を紹介するパネルを展示した休憩スペースでは、多くの方々がお楽しみながらパネルを熱心に眺めておりました。

今後もこのような活動を通じ、みなとの情報を伝えていきたいと考えております。みなと見学会は不定期に開催しており、事務所ホームページにて開催情報を公開しておりますので、是非ご覧下さい。



受付の様子



港湾業務艇「ひのみね」に乗っていざ出発!



事務所の事業概要を紹介するパネルを展示

出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所
TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。